

東濃信金がNPO法人と連携

夏休みの宿題 無償支援

東濃信用金庫(多治見市)は、今月、愛知県春日井市のNPO法人東海つばめ学習会と連携して、無償の子どもの学習支援を始める。多治見駅南に今春開設した多目的スペース「とうしんウェイプラザ」(多治見市本町)を会場に、職員もボランティア講師として参加。子どもが夏休みの宿題を計画的に終わらせるのを後押しする。東濃信金によると、金融機関が学習支援を直接手がけるのは珍しい。

(小森直人)

経営理念に掲げる「地元と共にあり、共に栄える」ことを目指す地域貢献活動。「宿題おたすけ広場」と銘打ち、小学生を対象に7月23、30日、8月6、20日の午前10時～正午に開催する。児童は夏休みの宿題を持参し、分からない箇所を質問できる。定員は10人。

同NPO法人は愛知、三重県の8カ所、学習の機会に恵まれない子らの無料塾を開く。今回は大学生や社会人らが東濃信金職員、地元高校生と共に指導に当たる。同法人の柿本知樹理事長(29)は「社会的信用のある金融機関と一緒に素晴らしい立地で取り組めるのはありがたい」と語る。

多治見市 職員が講師、計画的な学習後押し



ウェイプラザは、駅に近接する再開発ビル「プラティ多治見」3階に入居。広さ約250平方メートルで、多目的室や相談、キッズコーナーがあり、セミナーや高齢者、子育て支援の出張相談に利用されている。横山幸子所長は「塾に通えない子もいる。ニーズがあれば継続や対象拡大も検討したい」と話す。申し込みは同プラザ、電話0572(56)2202。

東濃信用金庫が学習支援に利用する多目的室=多治見市本町、とうしんウェイプラザ